

10. 子どもに無料で食事と居場所を提供する「こども食堂」の開催

グループ名 あさひ子ども見守りネットワーク

代表者 永田 華子

① 活動の目的

- ・子どもたちが、「地域・社会の大人たちが、自分のことを大切に思い、いつも気にかけている」と感じて安心し、自己肯定感を育みながら成長するための、サポートを行う。
- ・家庭でも学校でもない「ななめの人間関係」の中で、子どもたちのSOSをキャッチする。
- ・経済や家庭の問題を抱えている場合に、適切なサポートに繋ぐ玄関口となる。

② 活動概要

- ・こども食堂『あのね』の開催

大阪市旭区 高殿南老人憩いの家（公民館）にて。

幼児～高校生まで無料。幼児の付き添いの大人は300円

- ・『あのねくらぶ』の開催

こども食堂『あのね』の常連の子どもたちを対象にした、食事会と学習支援。

皆が、シングルマザー・ファーザーの家庭です。

遠足、花火などの、野外活動も行いました。

- ・『ママカフェ』の開催

あのねくらぶの子どもたちの母親を対象にした、茶話会やお菓子作り。

- ・『あのね通信』の発行（子ども食堂の活動報告、地域情報、生活情報など）

- ・『持ってってボックス』を運営（すべての物が0円のリサイクル活動）

- ・地域の育児サロン『ほほえみ』とのコラボレーション企画

- ・保護者から生活と育児の悩みを聞き、必要な支援につなげる、日常的なサポート。

<< 活動例 >>

☆ こども食堂 あのね ☆

12/23 の夜は、こども食堂の開催日でした。

クリスマスの雰囲気のなか、こども 42 名、おとな 10 名が参加。

ボランティアスタッフの 12 名と、演奏の 4 名の方も集まり、ぜんぶで 68 人。

幼児さんから中学生まで、学校も年齢も越えて遊びだすと、親戚の集まりのような、不思議な賑わいになります。

食後の時間には、小学生の女の子が、一人で南中ソーランを熱演！

おとなバンドも、ギター、ベース、ジャンベ、キーボード、サックスで、3 曲を演奏しました。お土産には、ミニプレゼントと、お菓子の詰め合わせもありました。

今年も、沢山の方が真心の寄付を届けてくださって、クリスマスらしい会を開くことができました。



☆ あのねくらぶ ☆

「こども食堂あのね」の常連メンバーから始まった『あのねくらぶ』。

初めての遠足は、14 名の子どもたちと、近所の公園へお花見に出かけました。



旭区こども食堂 シンポジウム

「こども食堂でつながりづくり」

平成30年2月25日(日)午後1時30分~4時30分

第1部 基調講演	第2部 パネルディスカッション
	
大阪教育大学 教育学部 教育政策科 教授 新崎 国広さん	パネリスト 西田 繁史さん 方 駿さん 多田 真子さん 中井 錠太さん 久保田一男さん
シンポジウム質問募集 ごども食堂でつながりしまる	

フードドライブをおこないます

内容: おでかけなどにかかる料金を支払うことができないなど、家庭で困っている家庭が
ごとに現れることがあります。そこで、この機会に、おでかけなどで使った料金を募り、
おでかけの費用を減らすことができます。

料金(日本ハム・バーベキュー・カルフード等)
割引(ドーム・オズ・バスターなど)
当社、レーベル商品、ふなけ、園芸料など
+ 購入額が1ヶ月以下のもの、生鮮食品、豚肉渋みの商品、アルコール類はご遠慮ください。

大阪市立旭区民センター
小ホール (旭区中宮1-11-14)

定員: 200名
(申込不要・先着順)
料金: 1人100円(税込)~1,000円(税込)未満の料金
申込: 旭区支所係課・子育て支援担当 ☎ 6957-9176 旭区社会福祉部 ☎ 6957-2200

あのおね通信
2018年夏号

発行: あさひ子ども発育ネットワーク

活動報告

5月のあのおね

5月26日は2ヵ月ぶりでしたが子ども37名、ボランティアや見守りの大人を含めて総勢64名と共にぎやかに開催しました。メニューは寄付でいただいた焼きそばです。途中「暑気が来ない!」とトラブルもありましたが、無事夏の、子ども達も積極的に調理に参加してくれました。真剣の後はお田さん同士のチマママ会が始まり、子ども達は一緒に遊んだり、思い思いの時間をお過ごしたりと、気分が解消時間の8時をあっという間に迎えていました★

**「こども食堂安心・安全プロジェクト」に
参加しました。**

あのおねは全国こども食堂は全国2000ヶ所以上で活動が行われ、地域を繋ぐ大切な居場所になります。この輪を広げさせていこう。「こども」と「食」に関わる場所の「安心・安全」を高めるために全国200ヶ所のこども食堂への保護導入を目指したクラウドファンディングが行われ、あのおねも参加しました。温かい力での支援のおかげで目標額を達成し、あのおねには1万円×3年分の保護料をいただけることになりました。あのおねは「地域でつくるみんなの実家」を目指し、地域で助け合って子育てすることや社会で子どもたちを応援することを大切にしながら、これからも地域に根差した活動を続けていきます。

インタビュー

千林くらしエール舎のYの店
(株)鳥飼たなか 4代目 代表取締役 田中靖彦さん

いつも美味しいといとの趣揚げを沢山ご賜ねくださっている、鳥飼たなかさんです。あのおねの活動の様子をご覧になって、応援して下さっています。本当にありがとうございます。鳥飼たなかさんはなんと大正時代の創業で、1代目社長のお名前「田中藤五郎さん」が「鳥飼」という名前の由来だそうです。また、お店のある「千林くらしエール舎」は昔は市道だったそうで、今は千林商店街と今市商店街の両方に所属しているそうです。

千林米

エル謹が7周年から取り組んでいるのは、「せんばやし米」(JA岡山東きぬゆめ)です。毎年地域の子どもたちが6月に田植え、10月に収穫を体験できるパワースポットとして、今年はあのおねの子どもたちも参加させて頂きました。初めての田んぼ体験に子どもたちも喜んで大満足でした!そして、なんと今年はせんばやし米が美味しいとの評価で、初めての「エール舎」のスーパー・ユーモラルシェで販売されていますので、ぜひご賞味下さい♪

今後のあのおねの予定

7/21 (土) 15:00~ 夏休み 宿題片付け祭り 17:00~ 自由あそび 18:00~ 夕食 20:00~ おしまい	
8/4 (土) 10:00~ 育児サロン「ほほえみ」※幼児さん対象です 12:00~ お昼のあのおね(お昼ごはんと宿題タイム) 15:00~ おしまい	
9/22 (土) 17:00~ 夜のあのおねオープン	

場所: 高陽南老人憩いの家

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	1 0 0 , 0 0 0 円
支 出	食材費	8 4 , 8 2 6 円
	消耗品	3 , 4 0 7 円
	プレゼント代	1 2 , 4 6 4 円
	交通費	1 , 0 0 0 円
合	計	1 0 1 , 6 9 7 円